

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

備後TOMOの家

グループの名称

こだわりのECO研究会

直近採択グループ番号

06-0651-0641

(グループ代表者)

代表者名

昇高 輝明

代表者印

代表者所属先

昇高建設株式会社

代表者所在地

広島県府中市栗柄町418

代表者電話番号

0847-45-7177

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社福永硝子建材販売

事務局担当者名

中塚 政宏

印

事務局郵便番号

720-0031

事務局所在地

広島県福山市三吉町5-5-5

事務局電話番号

084-926-4816

事務局FAX

084-926-4817

事務局担当者E-mail

bingotomon@yahoo.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	備後TOMOの家
2. グループの名称(必須)	こだわりのECO研究会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0651-0641
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	備後地域、広島県、岡山県
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	昇高 輝明
7. グループ代表者の所属先(必須)	昇高建設株式会社
8. グループ代表者所在地(必須)	広島県府中市栗柄町418
9. グループ代表者電話番号(必須)	0847-45-7177
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社福永硝子建材販売
11. グループ事務局担当者名(必須)	中塚 政宏
12. グループ事務局郵便番号(必須)	720-0031
13. グループ事務局所在地(必須)	広島県福山市三吉町5-5-5
14. グループ事務局電話番号(必須)	084-926-4816
15. グループ事務局FAX番号(必須)	084-926-4817
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	bingotomon@yahoo.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	4	海外産の合法木材については原木供給者の特定が困難な為、供給ルートに構成員を含まない場合がある。
II. 製材・集成材製造・合板製造	7	海外にて製材された木材については事業者の特定が困難な為、供給ルートに構成員を含まない場合がある。
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	8	一部、流通を介さずに地域材の調達を行う場合がある。
IV. プレカット	4	一部の施工構成員においては、全て手刻みによる加工を行うため、プレカット会社を使用しない場合がある。
V. 設計	4	施工店が設計を兼ねている場合は、設計として登録していない場合がある。
VI. 施工	7	
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	3	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
	<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	国産材	/	3	国内	
	<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外	
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外	
	<input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	外材		2	国外	
	<input type="checkbox"/> FIPPC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内	
	<input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外	
	広島県産木材	広島県		合法木材証明制度	3	国内
	広島県産木材	広島県		広島県産材産地証明制度	1	国内
	岡山県産木材	岡山県		合法木材証明制度	3	国内

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		8	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸		
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		4	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		2	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		1	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		1	戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟				
				0	m ²					
				0	棟					
				その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	m ²			
均等配分、未経験事業者を優先。										
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)										
E. 平成29年度の執行状況 (必須)										
長寿命型(長期優良住宅)										
		採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸
高度省エネ型(認定低炭素住宅)										
		採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)										
		採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)										
		採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸
優良建築物型										
		採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸
		採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 備後TOMOの家	(地域型住宅供給対象地域) 備後地域、広島県、岡山県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) こだわりのECO研究会	(結成年) 2015年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0651-0641	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	◎
④①～③の背景	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄
a	
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容: ・地域型住宅については規格化を行っていないが、今後の課題として検討していく。 ○
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・構造・断熱に関する共通建材を一部使用している。 ・高性能断熱パネル、遮熱高断熱Low-e複層ガラス、高気密サッシ「遮音性能T-1(JIS基準)以上」の使用をグループとして推奨。 ◎
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・節水型トイレ、熱交換換気システム、耐震金物等の設備に関する仕様を一部統一している。 ◎
②-1 建材・資材調達の見直し	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・事務局が流通店であることを活かし、事務局が中心となり、一部共同化を行っている。 ◎
②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・事務局が中心となり、一部調達事務の合理化を行っている。 ◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・事務局に検討委員会を設置し、月に一度の生産会議で合理化について話し合いを行っている。 ◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: ・月1度開催される生産会議の運営を行っている。 ・構成員の生産状況の把握し、資材調達に協力している。 ◎
b	
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: ・『20年間地盤保障』を取入れ、『地盤簡易液状化診断』を実施するよう努力している。また『地盤保証書』の発行を行うことをグループとして推進している。(様式3-4参照) ◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: ・気密測定や外皮性能検査を実施し、性能値の表示を必須としている。また『気密測定結果報告書』『性能報告書』を以って信頼性を確保している(様式3-4参照) ◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: ・グループ共通の見積書モデルを作成し、信頼性向上に努めている。 ◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: ・資金面に不安を抱えるお施主を対象とした相談会を開催し、安心して購入してもらえるように努めている。 ◎
c	
① 週休2日制の導入の取組	□ ない ■ ある → 内容: ・工期の平準化を目指し、可能な限り週休2日制としている。 ◎
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない ■ ある → 内容: ・技能や経験に見合った評価や報酬に取り組んでいる。 ◎
③ 社会保険への加入	□ ない ■ ある → 内容: ・標準として加入している。 ◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない ■ ある → 内容: ・作業での安全確保は必須としており、健康確保に関しては定期的な健康診断を受診している。 ◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	なし ○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 備後TOMOの家	(地域型住宅供給対象地域) 備後地域、広島県、岡山県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) こだわりのECO研究会	(結成年) 2015 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0651-0641		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】			
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・情報サービス機関により、保管・管理・蓄積する。保管・蓄積する情報は細分類管理し、30年以上保管することとする。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・昨年同様、住宅履歴情報サービス機関で全棟情報保管と蓄積を行う。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・情報サービス機関からの登録報告を以って、情報の登録・蓄積の確認を行う。 ・『住宅履歴情報証明書』で登録内容の確認を行う。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・定期点検はグループで決定した定期点検時期(3か月目、6か月目、1年目、5年目、10年目、30年目)に必ず必ず実施する。 ・内容を記録した定期点検記録シートは情報蓄積する。	○
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・補修箇所、補修内容、補修結果は必ず記録を残す。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・情報サービス機関からの『更新完了報告書』を以って実施の確認をしている。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ構成員向けの住まい管理勉強会、技術講習会を月1度行っている。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・お客様向けのDIY体験会を3か月に1度行うようにしている。体験会の講師は施工メンバーが持ち回りで担当するように努力している。	○
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・3か月に一度、お客様向けの住宅展示会・住宅相談会を行っている。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が維持管理委員会を運営している。	○	
⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅の緊急トラブル、不具合に対応するための仕組を施工メンバーで作っている。 ・第3者機関による24時間維持管理体制導入を検討する。(様式3-4参照)	◎		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・廃業等が発生した場合、他の構成員によってその後の維持管理、メンテナンス等のサポートを実施し、助け合う。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・月1回の勉強会を行っている。	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		なし	○
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】			
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・経験豊富な施工店が定例勉強会にて未経験工務店への指導や相談を行う。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・1か月に1度、定例会を実施し、品質管理実績報告を行う。	○	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局による確認と承認を行っている。	◎	
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・毎年3月に定例会にて策定している。	◎	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・3か月に一度の技術研修会を開催する。 ・技術基準の設定と適合状況の確認を年に一度行う。	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・定例会にて業種ごとに合理化を模索している。	○	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 15 今年度の参加目標人数 3	◎
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 3 今年度の参加目標人数 2		◎	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が講習会開催の情報を周知している。 ・講習会合格者を発表し、受講を喚起している。		◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・BIMやVR活用を視野に入れ、検討を進めている。	○	
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		なし	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 備後TOMOの家	(地域型住宅供給対象地域) 備後地域、広島県、岡山県																								
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) こだわりのECO研究会	(結成年) 2015 年																								
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0651-0641																									
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。																										
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与																										
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄																								
a	地域材利用に関する																									
①	共通 ルール(必須)	・地域材を主要構造材(柱・梁・桁・土台)に50%以上使用する。																								
②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上																								
③	標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
	柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
	梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
羽柄材	間柱、根太、垂木等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している																							
造作材	枠材、廻縁等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している																							
板材	壁板、床板等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している																							
④	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>【補足】地域型住宅の地域材供給の流れについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木が国有林、県有林等から供給される地域があるため、該当地域においては原木供給業者が含まれない。 ・一部、流通を介さずに地域材の調達を行う場合がある。 ・一部の施工グループの構成員においては、全て手刻みによる加工を行うため、プレカット会社を使用しない場合がある。 ・原産国が海外の木材については、産地・出荷者が多岐にわたり原木供給者、製材会社の特定が困難な場合がある。 <p>この為、流通グループに所属する出荷者による合法性の証明によって代替する。</p>																								
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局を通じて一部木材ルートに在庫確認を行う努力をしている。																								
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・今後の課題とする。																								
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・事務局を通じて一部木材ルートに需給予測確認を行う努力をしている。																								
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・近年はファッションブルな置き畳も増え、洋式家屋にもなじむため、積極的に取り入れている。・用量は平均12枚程度。																								
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:																								
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:																								
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・和室のアクセントとして提案している。																								
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・広島県産材や備後の木材加工品が有名なため、表札、家具、建具を中心として取り入れる努力をしている。																								
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:																								
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・備後地方伝統のデザインを積極的に提案している。																								
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・備後地方伝統の仕様を積極的に提案している。																								
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・緑化活動、環境保全活動に協力している。																								
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・和室、畳、障子、和ダンス風家具、和風簾等の和の使用をお勧めしている。																								
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	なし																								
カ. その他																										
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄																								
東日本大震災の復興に資する取組	・昨年度と同様に継続予定	◎																								
平成28年熊本地震の復興に資する取組	・昨年度と同様に継続予定	◎																								

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 備後TOMOの家	(地域型住宅供給対象地域) 備後地域、広島県、岡山県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) こだわりのECO研究会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0651-0641	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

【こだわりのECO研究会】高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)提案住宅の概要(様式5-1 抜粋)

・BELS認証による評価

(1)目標設定

○グループで共有する数値目標⇒外皮平均熱貫流率(UA値) 0.5 W/m²・K

【4地域】

《エネルギー削減率(全体R) 103.0% (太陽光発電を除くR) 28% (UA値) 0.52W/m²・K(ランクアップ:0.5W/m²・K) (太陽光発電) 5.80kW》

【5地域】

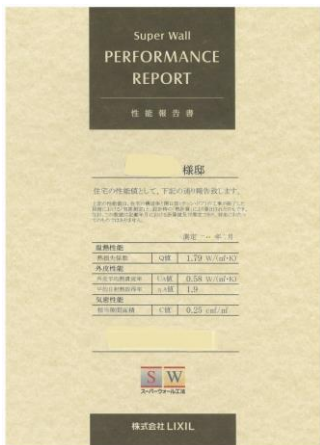
《エネルギー削減率(全体R) 103.0% (太陽光発電を除くR) 30% (UA値) 0.52W/m²・K(ランクアップ:0.5W/m²・K) (太陽光発電) 5.30kW》

【6地域】

《エネルギー削減率(全体R) 105.0% (太陽光発電を除くR) 32% (UA値) 0.56W/m²・K(ランクアップ:0.5W/m²・K) (太陽光発電) 4.80kW》

(2)その他の目標

・太陽光発電設備に対して、10年定期点検プランを実施検討する。(ゼロエネルギー住宅のみ)



性能報告書



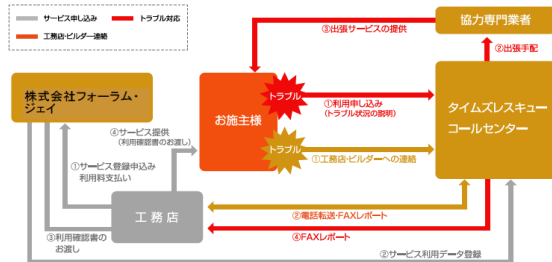
地盤保証書



気密測定結果報告書

Point.1 発電率 90% 以上 ほぼ確実に繋がるので、昼中のイライラ無し。	Point.2 受付後、到着予定時間をきっちりご案内。	Point.3 基本無料の緊急駆け付け 深夜、早朝や年末年始GWの緊急トラブルでも「安心」	Point.4 有償サービスの実施案内は、電話オペレーターからご案内 サービスマンが現場で勝手に作業することはありません。	Point.5 FAXレポート いろいろ、誰かどんな依頼をしたかがわかるので、工事依頼も「楽」
---	---------------------------------------	--	--	--

●ホームアシスタンス24ご提供のフロー



24時間維持管理体制しくみ



JSEMA維持・管理+補償制度

当協会が太陽光発電システムを安心してご利用頂くために、維持・管理+不具合調査や修繕も全国のインスペクターが対応いたします。

維持・管理詳細	運営主体
検 査 調 査	JSEMA
システム診断	JSEMA
修 繕	JSEMA ⁽¹⁾
維持・管理	JSEMA
点 検	JSEMA
不具合調査+修繕	JSEMA
補償制度(火災・盗難・壊れ・電気の接続の断絶 ⁽²⁾)	JSEMA+三井住友海上

⁽¹⁾ 保証期間中に発生したトラブルに対応。
⁽²⁾ 保証期間中に発生したトラブルに対応。
⁽³⁾ 保証期間中に発生したトラブルに対応。

太陽光発電設備維持管理スケジュール

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。